

令和2年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 和歌山県
 農業委員会名： 印南町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和2年3月31日現在)

1 農家・農地等の概要

農家数(戸)		農業者数(人)		経営数	
総農家数	873	農業就業者数	1315	認定農業者	102
自給的農家数	195	女性	654	基本構想水準到達者	42
販売農家数	678	40代以下	227	認定新規就農者	0
主業農家数	276			農業参入法人	2
準主業農家数	117			集落営農経営	0
副業的農家数	285			特定農業団体	0
				集落営農組織	0

単位:ha

	田	畑	普通畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	279	654	-	-	-	933
経営耕地面積	229	152	140	232	-	613
遊休農地面積	6	3	-	-	-	9
農地台帳面積	546	650	-	-	-	1196

2 農業委員会の現在の体制

任期满了年月日 R3年 4月 26日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	13	13
認定農業者	-	8
認定農業者に準ずる者	-	0
女性	-	1
40代以下	-	0
中立委員	-	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	10	10	5

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	933 ha	59.1 ha	6.33%
課 題	農業集落の高齢化が進み、農地の集積に取り組む担い手の負担が過重なものにならないか懸念される。		

2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積	60.1ha	(うち新規集積面積	1.0ha)
	目標設定の考え方:前年実績とこれまでのすう勢から考えた目標値			
活動計画	・個別の担い手に対して、農地のあっせん・仲介等を行うことにより、利用集積を図る。(通年) ・農地中間管理事業の利用を推進する。(通年)			

III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	29年度新規参入者数	30年度新規参入者数	元年度新規参入者数
	0 経営体	0 経営体	1 経営体
	29年度新規参入者が取得した農地面積	30年度新規参入者が取得した農地面積	元年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	0ha	0.1ha
課 題	若者の人口が少ないため、参入者数も少ない。		

2 令和2年度の目標及び活動計画

参入目標数	1 経営体	参入目標面積	0.1ha
活動計画	参入者は少ないが、参入後確実に定着されるよう支援体制の充実を図る。		

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (令和元年12月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	933 ha	9.0 ha	0.96%
課 題	農業従事者の高齢化や鳥獣による農業被害で耕作放棄地が年々発生し、荒廃が進んで再生は困難になりつつある。		

2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 1.0ha			
	目標設定の考え方:過去の実績と現在の情勢等から考える目標値。			
活 動 計 画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		22人	8月～10月	10月～11月
	調査方法	農業委員・推進委員が各地区を巡回してとりまとめる。		
	農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		11月～12月	1月～3月	
その他				

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和元年12月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	933 ha	0.04 ha
課 題	古くからの違反転用に対し指導を継続しているが、所有者が町内におらず手続きがされない。	

2 令和2年度の活動計画

活動計画	8月～12月 農地パトロールによる現地確認と是正指導 通年 農業委員の日常的な監視により、新たな違反転用の発生防止に努める。
------	---